

## 特別セッション2 IS 温故知新—IS 発展史に向けて

モデレーター 神沼 靖子†  
パネリスト 井上 義祐††  
パネリスト 堀野 君夫†††  
パネリスト 大和田清隆††††

昨今、情報システムと社会環境研究会では、情報システムの研究・学問・教育について多面的な議論がなされていますが、その際「情報システムがどのように生まれて発展し今日に活着しているのか」に関する知財をまとめ、継承していく必要があるのではないかという話題がしばしば出ています。

さまざまな目的で開発・構築（あるいは改築）されて、今日の社会や組織の活動を支えてきた「情報システム」には、いろいろな必要性や背景があったにもかかわらず、実際にはそれらの本質を知っている人が限られているばかりでなく、年月が経つにつれてその貴重な情報すらも消え去りつつあるというのが現状です。

そこで、今日の情報社会を支えている情報システムが何故・如何に生まれてきたのか、どのような社会環境で生まれてきたのかなどの切り口から情報を整理し共有して、情報システム学の教材として活用することを思い立ちました。

そして、情報システムが人間・社会・組織といった社会的な側面と情報・通信などの技術的な側面とを有し、それらが融合しながら発展してきた様子をまとめることに意義があると考え、いろいろな立場から情報システムに関わり、それぞれの時代を担ってこられた諸先輩に経験を語っていただき、それを形に残すという活動を始めました。

今回は、温故知新というテーマで3人の大先輩をお招きして、情報システムとどのようにかかわってこられたかを社会的・技術的な視点から語っていただき、情報システムの発展史の一ページとしたいと考えています。

まず、鉄鋼業界最初のオンライン生産販売管理システムに中心的に関わられた井上

義祐先生に、大規模システムでの企画開発と設計思想についてお話をいただきます。先生は業界における情報システム発展の草分け的な存在であり、新日鉄の君津製鉄所情報システム部長を経て、後に桃山学院大学教授を歴任されています。

次に、オートバイの生産管理システムに関わられた堀野君夫先生に、ヤマハの生産管理システムと情報システムガバナンスという切り口からお話をいただきます。先生はヤマハ発動機の情報システム部長を経て、ヤマハモーターソリューション社長を歴任されています。

最後に、社会システムの専門家である大和田清隆先生に、都市づくり・まちづくりの切り口から情報システムに迫っていただきます。先生は都市防災研究所の主任研究員をされ、静岡大学の客員教授もなさっています。

短時間ではありますが、自由討論も含めて、社会・技術的な情報システムの一面を覗くことができれば嬉しく思います。また、このセッションの記録は、後日まとめて会員に公開する予定です。

(神沼靖子)

† 情報処理学会フェロー

†† 元新日本製鐵君津製鉄所情報システム部長、元桃山学院大学教授、元プール学院大学学長

††† 元ヤマハ発動機情報システム部長、元ヤマハ・モーターソリューション社長

†††† (財)都市防災研究所、静岡大学客員教授